

(別表)

評価項目、評価基準、及び配点

評価項目			評価基準		配点	最大得点	
参加者実績・配置技術者資格 (代表企業)	参加者(会社)	工事完了実績	同種及び類似業務完了実績	同種及び類似業務	5.0	5.0	
				同種業務のみ	4.0		
				類似業務のみ	3.0		
	技術協力業務責任者	資格	配置予定技術協力責任者の所有資格	一級建築士、かつ一級建築施工管理技士	2.0	2.0	
				一級建築士、又は一級建築施工管理技士	1.0		
	監理技術者	資格	配置予定監理技術者の所有資格	一級建築士、かつ一級建築施工管理技士	2.0	2.0	
				一級建築士、又は一級建築施工管理技士	1.0		
	小計						9.0
	評価項目			評価基準		配点	
技術提案書	ア) 業務実施方針・実施体制	これまでに携わった公営競技施設の新築・改修工事実績や E C I 方式で実施された公共施設の新築・改修工事実績を踏まえた万全な業務推進体制となっているか。			2.0	8.0	
		E C I 方式の業務経験者の配置等、プロジェクト責任者、技術協力業務責任者、各担当者が円滑にプロジェクト推進を行える体制となっているか。			2.0		
		実施設計段階・・・発注者、C M r、設計者と円滑にコミュニケーションを図り、E C I 方式による発注のメリットを活かせる体制及びスケジュール管理手法となっているか。			2.0		
		施工段階・・・発注者、関係者とのコミュニケーションが円滑に遂行でき、本場開催・場外発売を極力止めずに安全に配慮した居ながら工事を行える体制となっているか。 ※関係者とは、一般来場者、レースに参加する選手、地元選手、競輪場運営事業者、工事監理者、周辺住民を含む。			2.0		
	イ) コストコントロールに対する提案	E C I 方式のメリットを生かし実施設計段階及び施工段階の工事費を削減でき、的確で透明性の高いコストコントロール手法となっているか。			2.0	4.0	
		公的指数等を用いた、物価スライドの明確なルール設定を提案しているか。			2.0		
	ウ) 工事ステップに対する提案	本場、場外開催を極力止めずに全ての解体・建設が行える現実的な工事ステップとなっているか。(インフラの盛替え計画も含む) ※以下①、②の留意点を踏まえ、提案を行うこと。 ①レースに参加する選手と地元選手等が使用するバンクに対する影響を最小化し、安全なレース・練習環境を工事期間中もなるべく多く確保できること。 ②工事中における関係者の安全性に最大限配慮した動線計画と工事ステップごとの仮設計画であること。 ※本場開催による工事休止については、休日振替作業を前提とした4週8休の工程を条件とする。			10.0	10.0	
	エ) 基本設計を改善し、実現可能性を向上させる提案	「ウ) 工事ステップに対する提案」を踏まえ、解体工事及び、メインスタンド棟、選手宿舎・管理棟の工事を合理化し、工事費を削減できる提案となっているか。また、周辺住民に対する騒音、振動、安全対策等が配慮された提案となっているか。 上記を踏まえ、メインスタンド棟の必要座席数を確保した上で、屋外観覧席の施工方法に関する的確な提案となっているか。			6.0	6.0	
	オ) 実現可能性の高い工期の設定	「ウ) 工事ステップに対する提案」「エ) 基本設計を改善し実現可能性を向上させる提案」を踏まえ、4週8休を原則として品質を確保できる実現可能な工期となっているか。 ※提案する工程表は発注図にある工程表と比較し、ポイントについてわかり易く記載すること。			9.0	9.0	
	カ) その他提案	基本設計を向上させる実施、実現できる具体的な取組みが提案されているか。 ※以下①～④のテーマについて全て提案すること。 ①技術協力者として立地特性を踏まえ、施設・外構計画の品質を向上させる提案(外構における既存擁壁等への対応等) ②竣工後の建物のランニングコストを抑えるための提案 ③メインスタンド棟の Z E B R e a d y 化に向けた提案 ④その他自由提案(資源(敷地内の木材等)・仮設等の再利用等)			6.0	6.0	
キ) 久留米市内事業者の活用についての提案	久留米市内事業者の活用について、実施、実現できる具体的な取組みが提案されているか。 ※以下①～④のテーマについて全て提案すること。 ①1次下請工事の発注において、「市内建設業者」を積極的に活用する手法について ②「市内企業」からの建材資材を調達する手法について ③久留米市内事業者の活用を履行確認するための有効なモニタリング手法について ④久留米市内事業者の更なる活用方法について ※久留米市内事業者とは「市内建設業者及び、市内企業」をいう。 ※市内建設業者とは、久留米市内に本店を有し、建設業法における建設業を営むものをいう。 ※市内企業とは、久留米市内に本店、支店及び営業所を有する企業をいう。			2.0	8.0		
	上記①、②の久留米市内事業者の活用における、V E 提案採用前の経済効果額(税込) 評価式=(当該提案者の経済効果額/全提案者の経済効果額のうち最高価格)×6点 ※上記計算式で算出された値の小数第2位以下を切り捨てた値を評価点とする。 ※本事業の契約金額及び建設資材の調達額(税込)をそれぞれ集計し経済効果額を記述すること。 ※①の算出についての条件は以下のとおりとする。 ・J V として参加する市内建設業者の出資額は経済効果額に算入しない。 ・「市内建設業者」のうち、本店との契約分を全て算入すること。 ただし、久留米市内に本店を有する企業の、久留米市内の支店及び営業所との契約は算入する。			6.0			
小計						51.0	
プレゼンテーション・調整能力					10.0	10.0	
価格(税込)			価格評価式=(全提案者のV E 提案採用後見積金額のうち最低価格/当該提案者のV E 提案採用後見積金額)の2乗×30点 ※上記計算式で算出された値の小数第2位以下を切り捨てた値を評価点とする。		30.0	30.0	
評価点合計						100.0	